

# 「強い信念持って」

## HASTIC 副理事長 伊藤氏が講演

帯広八千代中



ロケット開発への夢を語る伊藤副理事長

八千代中学校(渡部正)PO法人北海道宇宙科学  
男校長、生徒31人で21 技術創成センター(HA  
目午前10時40分から、NASTIC)の伊藤副一

理事長による講演が行われ、「あきらめずに強い信念を持つことが大切」と夢を追いかける重要性を語った。同校は今年度、市教委の夢のある学校づくり支援事業を活用し、HASTICへの取材を通して学び方や宇宙への関心をはぐくんではいる。専門家から聞き方やエモの取り方を学習するなど準備を

進めてきた。

HASTICは道産子ロケット「カムイ」を開発し、大樹町で打ち上げ実験を行っている。伊藤副理事長は開発羅織やロケットの構造などを説明し、「本物には独創性と独自性が大切」と強調。はっきりとした目標を持ち、今までは飛躍的に異なる「1けた違い」を

目指すことが重要で、「多くの人と一緒にやれば効果が出てくる」と呼び掛けた。1年の相馬百合さん(13)は「スケールが大きく、宇宙への興味が広

がった」と話していた。生徒は講演会の要旨をまとめ、10月の文化祭で発表する予定。(池合智)